

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【低学年】

- ・どの単元も学習カードを活用し、その時間の学習課題を立てて、取り組ませることができた。学習課題や振り返りを書かせる経験を重ねていけたので、習慣化することにもつながった。
- ・単元を通して学習カードを活用し、学習課題に対する振り返りを行ったので、運動意欲向上へつなげることができた。
- ・学習カードに出来るようになったことや、がんばったことを記入して、活用したことで、意欲の向上を図ることができた。
- ・授業の中で運動遊びを取り入れることで、運動の楽しさを感じさせることができた。
- ・年間を通して、どの単元も様々な運動遊びに取り組ませることができた。
- ・学習カードを活用することで、友達のよいところや自分のよいところを認識することができた。

【中学年】

- ・学習カードを活用して、自己の学びや活動を振り返ることができた。
- ・友達のよい言動を見つけたり、伝えたりする活動を取り入れて、高め合うことができるようになった。
- ・器械運動では、お手本動画を撮影し、児童に共有した。
- ・体育ノートを活用した。チームや個人の学習課題の修正と解決に役立てた。
- ・運動の楽しさや喜びに触れることができるよう対話的活動やICT機器による動画撮影を活用した。

【高学年】

- ・活動の場、練習方法を選ぶことで、一人一人が自分の課題に合わせて技能を高めることができた。
- ・学習の中で学習カードを活用しながら、個々の技能を高めることで対話的な取り組みができた。
- ・作戦ボードとしてタブレットを活用し、チームで作戦を共有することができた。
- ・見本の動画だけではなく、児童自身の動きを撮影することで、自分の運動を客観的に見ることができ、技能定着に役立った。
- ・ICT機器を活用し、課題解決的な学習を進めることができた。

(2) 課題

【低学年】

- ・ICT機器を活用して手本となる動きや児童の実際の動きを見せ、課題把握や修正を行わせることは難しかった。
- ・勝敗を受け入れることは、なかなかできず、ゲームで負けたチームや負けそうな時に暴言等が現れることがあり、仲良く運動することに対しては課題が残った。
- ・マット遊びでは、けがをした児童もいた。安全面に考慮していたが、さらなる考慮をしていく。

【中学年】

- ・勝ち負けを受け入れられない児童がまだ数名いるため、「チーム力」を意識させることが必要である。

【高学年】

- ・体育の授業での学びや運動に対する楽しさなどを、日常の生活に結び付けて活動する児童の育成に課題が残った。
- ・運動の得意不得意の二極化が開いているように感じる。跳び箱や鉄棒などで怪我をしてしまう児童がいたので、指導面で考慮を加えていく。

3 令和6年度授業改善のポイント（観点別）

低学年

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・一人一人の児童に運動技能を かの確実に身につけさせる ために、友達とポイントを教 え合ったり、技を見合ったり する時間を設ける。 (授業構成) ・運動技能が発達できるように 運動量を確保し、年間を通し て鬼ごっこ遊び等を取り入 れたり、様々な運動ができる 工夫をしたりする。 (指導計画・授業構成)	・友達のよいところや自分の頑 張り、運動のコツなどを見つ けられるように、対話や学習 カード、ICT 機器を通して交 流する。(授業構成) ・学習カードや ICT 機器を活用 し、学習の振り返りや次時へ の学習課題の修正、そして学 習への意欲付けができるよ うにする。(授業形態)	・誰とでも楽しく運動できるよ うに、ペアやグループの組み 方を工夫する。(学習形態) ・自分ができるようになりたい 動きが見つかるように振り 返りの時間を設け、次時の簡 単な学習課題を設定する。 (授業構成) ・学習カードや ICT 機器にめあ てや振り返りを記入し、児童 の励みになるようなコメン ト等をできる限りフィード バックする。(授業構成)

中学年

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・技能を身に付けさせるために、 児童の実態に応じた課題解決 学習を行わせ、多様な運動に つながるように指導する。 (授業計画・授業構成) ・運動の正しい動きを理解させ るために、ICT 機器を活用し 児童が正しい動きを適宜確認 できるようにする。 (授業形態・教材教具) ・児童一人一人の技能を身に付 けるために全体のめあてとし て提示したり、技のポイント を提示したりして、動きのコ ツを共有できるようにする。 (授業構成)	・個人やチームの学習課題を見 つけ、目標や学習課題に合わ せた練習の仕方や工夫の場 を設定する。(授業構成) ・活動の振り返りを「学習カー ド」や「ICT 機器」を活用し、 次時の課題や練習方法を考 えられるようにする。 (授業構成) ・個人やチーム、グループ活動 の中の学習課題を見つけ、解 決するための方法や活動を 工夫させる。また、ICT 機器 を活用し、互いの動きの良さ を見つけ、考えたことを伝え る活動を取り入れる。 (授業構成・教材教具)	・自らの学習課題に対してどの ように解決をしていくかの 自己決定できるように指導 していく。(指導計画) ・自己決定した学習が適切であ ったのかを個人や友達と振 り返り、次時のめあてを設定 する。(授業構成・教材教具)

高学年

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・保健の学習内容との関連を図り、安全に運動に取り組むことができるようにする。(授業形態) ・運動器具や用具の正しい使い方、準備の仕方を理解できるよう、単元の導入でオリエンテーションを行う。(授業形態) ・見本動画を参考に、運動の行い方を理解できるようにする。(教材・教具) ・運動に取り組む時間や回数をできる限り多くすることで、技能を高めることができるようにする。(授業構成) ・児童一人一人の課題に合った場を設定する。(教材・教具、授業形態)	・自己の動きに目が向くように、友達と教え合ったり、撮影した動画を見合ったりすることができるように工夫する。(授業構成・教具) ・学習したことを振り返り、新たな課題に挑戦できるようにするために、学習カードの内容を工夫する。(教材・教具)	・一人一人が自己の目標を設定することで、達成感を味わうことができるようにする。(授業構成) ・自己の目標に向けて取り組んでいる様子や、できるようになったことを称賛する。(授業構成) ・友達と関わり合って授業に取り組むことができるようにするために、單元ごとにクラス全体の目標を設定する。(授業構成・教材・教具)

4 今年度の授業改善プランの成果と課題

(1) 成果

- ・運動遊びを取り入れ、運動の楽しさを感じさせられた。
- ・3学期に「いけがみマラソン」に取り組んだことで、児童の体力の向上を図れた。
- ・学習カードを活用し、「よくできた・できた・もうすこし」の振り返りを行ったことで、自己の学習への気づきを実感させ、意欲向上へつながった。
- ・ICT 機器を活用し、自分の動きと手本の動きを比べ、学習課題を発見や、協働的な学びができた。
- ・個々の学習課題に合わせた場や用具を選択させたことで、技能の高まりにつながった。

(2) 課題

- ・ICT機器の活用が困難だった。
- ・勝敗を受け入れられない児童が見られた。
- ・通信環境の問題で ICT 機器が上手く活用できない場面があった。
- ・学習中 ICT 機器を活用時間が増え、運動量が少ない児童がみられた。